

平成27年度 静岡精華幼稚園評価書

2016. 2. 29

A そう思う B 大体そう思う C あまりそう思わない D そう思わない

精華幼稚園教育目標		自己評価	学校関係者評価委員会から		
ひとり立ちする子			評価	意見	
三つの重点	1 経験・体験の幅の拡大	【教師の営み】精華幼稚園は、子どもたちの遊びを広げ深めるために、種々の面で子どもたちの経験・体験の幅を広げさせようと試みている。	A	A	・幼児教育に対する幼稚園の根本姿勢がうかがえる。砂場に大きな山を作って子どもたちを群がらせたり、「木鬼」を教えた新たな鬼ごっこを開発させたり、音楽あそびの盛り上がりに乗じてチェンバロ演奏の視聴を企画したりするなど、子どもたちの興味関心を遊びの発展に結びつけさせている。 ・子どもたちはたいへん人懐っこい。近隣3中学校をはじめ、高校、短大、老人会などの訪問を積極的に受け入れ、たくさんの人たちと接するようにしていることが成果を生んでいる。 ・子どもたちは、本当に上手に話が聞ける。ここというときすばらしい集中力を発揮する。教師たちの日頃の姿勢が今日の子どもたちをつくっている。
		【子どもの状況】子どもたちの遊びは、期待したとおりの広がりや深まりを見せてきている。	A	A	
	2 人間関係調整力の伸長	【教師の営み】精華幼稚園は、子どもたちが人とふれあう機会を積極的に設定しようとしている。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちは、臆することなく人とふれあうことができるようになってきている。	A	A	
	3 聞く態度・聞き取る力の育成	【教師の営み】精華幼稚園は、日々子どもたちに話を聞き取らせる工夫と努力を続けている。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちのここというとき話をしっかり聞こうとする姿勢は着実に育ってきている。	A	A	

教育目標具現に向けて育てたい七つの子ども像	1 自由遊びができる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、子どもが自分で遊べるよう積極的に子どもたちの中に飛び込み、子どもたちに遊びを促す。	A	A	・精華幼稚園の園庭はいつもにぎやかで、子どもも教師も楽しそうに遊んでいる。 ・子どもたちはみんな満足そうである。やりたい遊びがやりたいようにできていることがよく分かる。 ・子どもたち以上に元気に走り回っている教師を見かける。 ・「花いちもんめ」「長なわとび」「綱引き」「リレー」など、教師と子どもが一緒になって遊んでいる。 ・教師が率先して楽しみ、「おもしろそう」「楽しそう」と感じる空気を生み出している。 ・子どもたちはやる気満々で、みんな輝いている。 ・着替えや片付けなど、子どものペースに合わせて根気よく手を貸している先生、子どもなりの取り組みを褒めて士気を高めている先生をよく見かける。年長児が年少児の着替えを手伝っている姿もよく見かける。 ・朝、先生たちの声がよく響いている。 ・精華の子は卒園してからも挨拶がよくできる。小学校の交通当番で交差点に立っていたら、先に声をかけられた。 ・先生と子どもたちが談笑している姿をよく見かける。 ・先生たちに安定感が感じられる。この安定感が、子どもに安心感を生ませ、子どもたちの発言を活発化させている。 園外保育の道中がすべて社会体験という考え方はとてもいい。周辺の道路も子どもたちの育ちにとって、それぞれ貴重な存在となり得る。今後も近隣の公園や施設等の積極的な活用を期待したい。
		【子どもの状況】自由遊びの時間、子どもたちはそれぞれに遊びを楽しんでいる。	A	A	
	2 集団遊びができる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、率先して子どもたちの遊びの輪の中に入り、遊びを盛り上げたり遊びの広がりや促したりする。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちは外遊びを好み、友達と一緒に群れて遊んでいる。	A	A	
	3 園行事に楽しく参加する子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、「主役は子ども」という姿勢で、行事に子どもの思いを反映させている。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちは、一つ一つの園行事を心から楽しんで受けとめている。	A	A	
	4 自分のことは自分でやれる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、子どもたちが自分でできる可能性の限界を見極めながら、自分の手でできるようになるまで根気強く寄り添い、子どもたちにできた喜びを味わわせてあげようと努めている。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちは、着替えや片付けなど自分一人でもやり抜こうとする意欲が増してきている。	A	A	
	5 美しくあいさつができる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、朝と帰り、心を込めて声をかけ、子どもたちに挨拶の響きの心地よさを知らせながら、挨拶のこたえ返しを誘っている。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちからの「おはよう」「さようなら」の返りが増えてきている。	A	A	
	6 美しくお話しできる子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、言葉を大切にしながら子どもの立場に立って分かりやすく話し、子どもの言葉にうなずきながら子どもの思いをしっかり受けとめる。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちは安心して「先生、あのね、」と話し出す。	A	A	
	7 好奇心や探究心を抱く子に	【教師の営み】精華幼稚園の教師は、社会事象や自然事象への遭遇（経験・体験）の広がりや求めて、積極的に園外保育に出かける。	A	A	
		【子どもの状況】子どもたちの社会や自然に対する認識の広がりや、確かな歩みを見せている。	A	A	